

1948年いわき市に生まれた峰丘（みね おか）は、磐城高校卒業後画家を志してメキシコに渡り、メキシコ国立自治大学造形学部で学びました。メキシコ滞在は足かけ11年に及びます。1985年に帰国、ふるさといわきにアトリエを構えて今日まで、国内各地、さらには東南アジアや中欧各国など世界各地で指導・滞在制作を行い、個展を開催しています。鮮烈な色彩コントラストと金地背景、及びメキシコ時代に見出して生涯にわたる主題となったカラベラと近年の深海魚は、内外に広く知られる彼の代名詞です。本展は、初期から今日まで50年にわたる峰丘の歩みを、絵画を中心に、オブジェやデッサン・スケッチ類などを加えたおよそ150点を通して、総合的に通観する初めての回顧展となります。

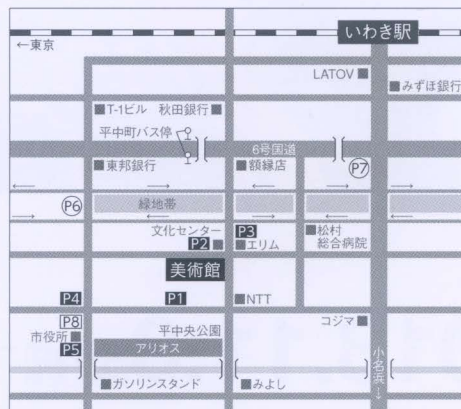
なお本展にあわせて、いわき市小名浜のふくしま海洋科学館「アクアマリンふくしま」において、近年の主要なモチーフでもある深海魚のシリーズを中心に、今回新たにシーラカンスをモチーフにして制作した作品などを加えた「アクアマリン峰丘展—哲学する深海魚」が同時開催されます。

■会期中の催し

- 作家座談会 「峰丘の表現—カラベラから黄金背景まで」
出演：峰丘 聞き手：当館館長 佐々木吉晴
11月17日14時～15時30分/2階企画展場内（聴講には本展チケット半券が必要）
- 作家による黄金背景の公開制作とワークショップ—2階企画展場内
①11月11日（日）14時～15時 ※ワークショップ終了後、会場内にて四家卯大によるチェロ演奏会開催 ②11月25日（日）14時～15時 会場/2階企画展示室※参加には本展チケット半券が必要

■同時開催 11月3日—12月9日「アクアマリン峰丘展—哲学する深海魚」
アクアマリンふくしま 〒971-8101 いわき市小名浜字辰巳町50 0246-73-2525

左上 「Adios(さようなら)」1976年/油彩・キャンバス
左下 「乾し上がったチャパラル湖のM夫人」1992年/油彩・キャンバス
右上 「パプアの聖人の悩み」2010年/金地ミクストメディア・合板
右下 「千年の沈黙」2016年/金銀地ミクストメディア・合板



交通のご案内
 ■JR常磐線 いわき駅南口より徒歩12分
 ■高速バス（東京線、郡山・会津若松、福島線）平中町バス停より徒歩3分
 ■駐車場は近隣の公共駐車場①②③をご利用下さい。③は土日祝日のみ。
 ■有料駐車場④平新川（51台）、⑤平十五町目（131台）は、美術館ご利用の場合、3時間までの駐車券を1階受付にてお渡しいたします。

いわき市立美術館

TEL:0246-25-1111 FAX:0246-25-1115
<http://www.city.iwaki.lg.jp/artmuseum.html>